



銀行などが並ぶ業務街

ジョージタウンの旧市街地は、港に面するエリアには、官庁や銀行、業務施設、倉庫など、繁栄した港町を彷彿とさせる歴史的建築物が並んでいる。

船からよく見える税関の塔の周辺に港湾関連施設が並び、そのうちの倉庫の一つが空き家になっていて、活用方法がないかとスタッフと視察をしたが、趣のある歴史的な建物だった。



税関の塔と周辺の街並み

その他のエリアの多くは、低層のタウンハウスとショップハウスと呼ばれる、間口が狭く奥行きが深い建物が通りに面して連続している。

日本の歴史的な町屋と同じような構成になっていて、奥に中庭を設けるなど工夫している。



ショップハウスの街並み

ヒンズー教、仏教、キリスト教などの寺院が点在し、特に歴史的なチャイニーズテンプルの周辺は、人気の観光地で屋台などが並び、何時も賑わっている。



チャイニーズテンプル前の賑わい

道路は、車と人、それにトライショーという自転車の前に客席をつけた乗り物が混在し、無秩序状態で利用している。

我物顔のトライショーは、「道路の王様」と言われていた。

日本では定着している「歩行者優先」の考え方は全くなく、一部の道路には歩道もあるが、横断歩道や信号機は無く、歩行者は車の間を歩いていた。



道路の王様トライショー

特に交通量の多い「コムター」周辺の幅の広い道路では、横断する歩行者は道路の中央までたどり着き、センターライン上に横一列になって車の流れを見ながら、残りの半分を一斉に横断するというのが日常的な光景だった。

ジョージタウンの北にある、ガーニードライブと呼ばれる美しい砂浜沿いの道は、夜になると様相が一変した。

屋台が通り沿いにずらっと並び、家族連れなどが大勢集まって、涼みながら食事をしたり歓談をしたりして時間を過ごし、夜遅くまで大変にぎわう夜市になった。

他に娯楽施設が、あまりないのだと聞いた。



ガーニードライブ



ジョージタウンの中心部

提案する計画の対象地区を、ジョージタウンの歴史的建造物が集中する中心市街地に絞り、最初の一か月で現地調査と課題の検討、次の一か月で提案内容の検討、最終の一か月で提案書の作成と、大まかなスケジュールを立ててスタートした。

初めの一か月は、毎日、フィールドサーベイで街を歩き回り、オフィスに戻ってから通り毎の特徴を整理して、資料とともに壁に張り出した大きな白地図に書き込んでいった。

赤道に近い街の街歩きだったが、万歩計は、連日2～3万歩を記録していた。

次の一か月で提案内容の検討を行った。

ある程度整理したところで、赴任当初は「一体何をするのだろう」といぶかっていた様子のタン課長に主旨を説明した。

反応は「good」であった。

残りの一か月でさらに内容を詰め、報告書としてのまとめに入り、再度、タン課長に説明をした。

今度は「very good」と言ってくれた。

そして報告書のタイプを、スタッフのタイピストに頼んでくれた。結婚式に出席した女性だった。

提案図の彩色は、カラーコピー機は無かったので、スタッフの一人に報告書の10枚分だけを絵具で彩色するよう頼んでくれたが、与えた時間に余裕があったようで、のんびりしている。

様子を伺うと「一生懸命やっているから大丈夫だ、時間内にはきっと間に合わせる」

「シティホール」の議場に幹部職員や議員を集めてくれ、プレゼンテーションを行った。



シティホール

自分の作成した「ジョージタウンのアーバンデザインプラン」の提案は、後に「Structure Plan」の内容にも反映され、「通り」の整備や、ウォーターフロント整備などが事業化された。

2008年に、プライベートでペナンを訪れたが、この年に「ジョージタウンのアーバンデザインプラン」で対象とした地域とほぼ同じ区域が、世界遺産になった。



幹部職員と議員へプレゼンテーション



プレゼンテーション風景



ジョージタウン骨格提案図



アーバンデザインプラン提案図



リゾートホテルの隣に超高層マンション

2008年、マレーシアのツアー旅行に家内と参加し、22年ぶりにペナンを訪問した。

かつての南国らしい空港の建物は建て替わっていたし、まだ工事中だった空港からジョージタウンへの道路も、広幅員の立派な道路になっていた。

沿道の街も、整った様子が変わっていて、高層マンションも多く、違う都市に来たようだった。

投資目的のマンション建設の波が、ペナンにも押し寄せていると聞いた。



整備されたキャンベルストリート

宿泊は、タンジョン・トコンという旧市街からはかなり離れたところにある、休日にプールを利用しに来たことがあるリゾートホテルだった。

しかし、その隣に巨大な超高層マンションが建ち並んでいて、こんなところにまでもと、環境の変化に驚いた。



水辺のレストラン

短期間の滞在だったので、旧市街をあまり見ることは出来なかったが、世界遺産になった地域は、当時の姿を維持しているようで、懐かしくほっとさせられた。

かつて宿泊した「E&O Hotel」は新しくなり「City Bayview Hotel」は増改築されて、さらに立派になっていた。



技術職員交流の同窓会

提案した考え方に沿って、道の整備がいくつかなされていた。また、港の水辺に面したホッカーセンター（屋台村）の提案は、レストランに変わって整備されていた。



セバランブライ市長と(右から3人目)

その後、技術職員交流事業で都市デザイン室に派遣されてきたマレー系女性職員パタヒヤ氏がペナン市の市長になり、自分が派遣された時のチームメンバーのマレー系女性職員マイムナ氏が、ペナン市の対岸にあるセバランブライ市の市長になった。



タン夫妻主催の歓迎パーティー

そこで2012年に、職員交流で派遣された元横浜市職員の有志が、ペナン市とセバランブライ市を訪れ旧交を温めた。

タン・テンシュウ夫妻が、当時のスタッフに声をかけて、ガーニードライブの近くに来れた大きなホッカーセンターで歓迎パーティーを開いてくれ、楽しいペナンの夕べを過ごした。

ジョージタウンの街並みの変化

左/写真 1986 年 → 右/写真 2008 年



(2019 年 2 月 記)